

うだつの上がる町並み（美濃市）

中心市街地

まちなみ・歴史

取組の背景

美濃町は金森長近の城下町建設に始まり、江戸時代を通じて1300年の歴史を持つ美濃和紙の産地を背景に経済活動が活発で、商家が建ちならぶ商業地として繁栄してきた。

主屋は、妻面に立ち上がった「うだつ」、多彩な格子やむしこ窓、正面下屋庇上に設けられた辻堂風もしくは箱型の火防神などの意匠や造形に特徴がある。江戸時代初期以来の独特な目の字型の街路構成を保ち、歴史的景観をよく伝えている。

平成11年5月13日、国選定美濃市美濃町重要伝統的建造物群保存地区の指定を受ける。



美濃市うだつの上がる町並み

取組の概要

平成11年5月13日に、美濃市美濃町（うだつの上がる町並み）が国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定されたのを機に、住民の意見を反映した景観マニュアルを策定するなど、官民一体となり景観整備を進めている。

取組の内容

20年ほど前に、町並みの歴史的価値を再認識したことから、住民のなかから保存に取り組む気運が高まり、平成5年頃から自主的に「美濃の町並みを愛する会」や「町並み案内ボランティア」が発足。市民の潜在的な郷土意識が目覚めた。

平成6年度、旧今井家住宅を美濃市が購入し「旧今井家住宅・美濃市史料館」として整備し一般公開。

一方、130年の歴史を持つ美濃和紙とうだつの上がる町並みをコラボレーションさせたあかりのオブジェの公募イベント「美濃和紙あかりアート展」を平成6年度から住民を中心とした実行委員会において実施し、また、海外のアーティストを招へいし市内に滞在してもらいながら創作活動、地域との交流を行う「アーティスト・イン・レジデンス事業」を平成9年度より継続して実施している。

平成11年に国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定されたのを機に、次のような景観整備を進めた。

- ・歴史的地区街路整備事業：電線類地中化、道路修景・案内サイン整備等基盤整備を充実。
- ・伝統的建造物群保存事業：保存地区内の建造物の景観に配慮した改修に対し補助を行い歴史的な町並みの文化的価値の保存を行う。（実績66件）
- ・商店街活性化事業：空き店舗活用・改修事業に対する補助を行い町並みの活性化に努めている。（実績11件）

「美濃和紙あかりアート展」は、今年で13回を数え美濃市を代表するイベントに成長し、平成17年度には、愛・地球博にも「あかりアート」を展示し世界へ向けてもPRを実施した。また、年間を通じて観光客に「あかりアート」を楽しんでもらう施設として平成17年8月24日、国登録有形文化財である旧美濃町産業会館を改修し、「美濃和紙あかりアート館」を整備した。

平成17年9月16日に、「全国町並みゼミ美濃大会」の開催、平成18年度には、「日本まんなか共和国文化首都」として美濃市を県内外にPRしている。

成果

美濃市への観光客数は、平成6年度の484千人から平成17年度には581千人と大幅に増加しており、「美濃和紙あかりアート展」も毎年10万人程度の来場者でにぎわいを見せている。

美濃市の取り組みは、全国的にも評価を受け

次のような賞を受賞している。

- ・第6回ふるさとイベント大賞（美濃和紙あかりアート展実行委員会受賞：総務省・地域活性化センター：H14. 4. 15）
- ・第19回地域交流振興賞（美濃・紙の芸術村実行委員会受賞：国際交流基金：H16. 2. 9）
- ・都市景観大賞、美しいまちなみ大賞（うだつの上がる町並み受賞：国土交通省：H16. 10. 4）
- ・地域づくり総務大臣表彰（美濃市受賞：総務省：H18. 1. 18） 等



あかりアート

成果の要因

うだつの上がる町並みや美濃和紙の歴史的価値について、はやくから住民が認識し、住民が中心となったまちづくりを行ってきたこと。

今後の課題

電線類地中化事業などの基盤整備は、ほぼ終了したが、民間活力による住宅や空き店舗活用などの修理・修景事業は、未整備の住宅等がまだ多く残っているため、今後も引き続き進めていく必要がある。また、保存地区内の駐車場整備、路上駐車の問題等が課題となっている。（来訪者の殆どが自家用車、観光バスを利用しており、公共交通機関での来訪者は少ない）

観光客数は、保存地区に選定されて以来順調に伸びては来ているものの近年伸び悩みを見せており、また観光客の滞在時間も短いことから、観光産業が地域の産業となるまでには至っていない。

行政への期待

美濃市では、「美濃市まるごと川の駅構想」を中心に、自転車競技の国際大会「ツアー・オブ・ジャパン」の開催、道の駅「にわか茶屋」の整備、従来からの「美濃和紙の里会館」の活用等、うだつの上がる町並みだけでなく、美濃市全体として「住みたいまち 訪れたいまち 美濃市」の推進に努めていく必要がある、県にも支援をお願いしたい。

また、補助金等についても制度はいろいろとあるが、それぞれの地域特性にあった使い勝手の良いものがあるとありがたい。

この人にお話をうかがいました！

美濃市観光協会 副会長 古川浩二さん
美濃市役所 総合政策課長 平林泉さん

調査日：平成18年10月26日（木）

調査者：まちづくり有識者懇談会 岩井委員

総合政策課 佐藤、建設政策課 高木、

都市政策課 酒井 中濃振興局中濃事務所 森